



経営ワンポイント情報「不易流行」

by 目加田博史

ほら吹き、バンザイ！

会社は創業した時から環境適応することと永続することを義務つけられています。永続するための絶対条件が環境適応することです。環境適応力が落ちてくると、さまざまな不具合が発生し、最終的には多臓器不全で滅びてしまいます。

世界人口は50年前の1960年には30億人にすぎなかったのですが、毎年8000万人増加して、ついに70億人を突破しました。大規模な戦争がないことと、さまざまな技術革新で、多くの人類を養えるようになったのです。先進国の人口増加率は50年間で1.3倍にすぎませんが、途上国では2.7倍になりました。人口が増えるということは、豊かになるために努力する人が増えるということです。

途上国で一人当たり1ドル収入が増えるだけで、世界では60億ドルの需要が生まれます。中でも中国の人口はほぼ2倍になり13億人、インドは約3倍の12億人です。

20年前の中国は世界の工場と言われましたが、いまは世界の市場と言われています。それだけ購買力がついてきているわけです。1990年の中国の一人当たりGDPは390\$, 2011年のそれは7300\$で19倍近くに増えています。この購買力が工場から市場への転換を実現し、政治的、経済的な影響力を増してきている背景です。

一方、日本は、人口は横ばいなのに、少子高齢化が進み、生産人口は減少する一方で、増えるのは高齢者のみという現象が今後10年以上続く気配です。

また、長引くデフレ経済は、ひどい財政赤字を引き起こし、今では税収の倍近い支出があり、その差額を借入金で補うといういびつな形になっています。

財源が減少するので、公共工事や医療保険の支出は押さえられます。お客様の奪い合いが激化し、激しい価格競争にさらされ、原価割れが激増します。これをチャンスにやり方を変えればまだまだ儲かります。

製造業から、建設業やサービス業を見れば肥渾の大地に見えます。

今のひどい状況を表面的な現象としてとらえるか、次の繁栄のニーズの宝庫ととらえるかで、会社の行く末が変わります。問題はどうか行動するかです。不況の時は誰もが内向きになり、不平不満をためてゆきます。そういう時こそ、目を外に向け、目線を高くするといいでしょ。山に登って下界を眺めるのもお勧めです。経営には鳥の目と蟻の目、望遠鏡と顕微鏡の両方が必要です。蟻の目で顕微鏡ばかり見ていたのでは、どこに進んでいるのか、大事なことは何なのか判断を誤ってしまいます。漠然と鳥の目で、望遠鏡を覗いていても手に入りたいものは見つかりません。歴史の教訓から学べば、不況のさなかに技術革新が行われ、次の飛躍の準備が行われ、絶好調期に次の破たん芽が生まれているのです。

私は創業の地を沖縄にしました。それは、土地柄と人柄が気に入ったことと、沖縄の歴史と人脈は突破力があることで、地球を西周りに東京に進出できると思ったからです。そしてもう一つ、アメリカの基地があったことです。世界最強の国が世界最強の海兵隊を大量に配備しているにはそれだけの理由があると思ったからです。なぜ、ソウルやマニラや横田や岩国ではなく、沖縄なのか。

当時の戦闘機の航続距離は2000kmで、西は中東、東はハワイ、北はウラジオストック、南はニュージーランドまで給油なしでカバーできたのです。制空攻撃力からみれば沖縄以外になかったといえます。

だから、私にも、チャンスがあると思いました。

内需で成長できる会社は成長している内需に着目し、外需を付加しないと成長が見込めないならば思い切って海外に舵を切るべきです。目を外に向けて、目線を高くして、会社の行く末を見つめてみましょう。直感的に本質が飛び込んできます。これからの内需における成長分野は建設業と医療・介護・教育です。外需で見れば極東エリアの建設業、製造業です。ITはベンチャー企業がけん引するに適した時代になりました。小さな企業ほど、また、地方企業ほど飛躍でき、世界に羽ばたける時代になりました。大風呂敷・ほら吹きの時代です。失敗を恐れず、チャレンジしましょう。

株式会社目加田経営事務所

<http://21cmc.jp>

那覇 〒900-0014

那覇市松尾 1-18-22 8階

TEL098-864-0331

FAX098-860-3416

京都 〒603-8478

京都市北区大宮釈迦谷 4-10

TEL075-334-5105

FAX075-493-8305

好きなもの「えがお」

得意ワザ「見える化」技術

嫌いなもの「現状維持」

2日間の「マルミエ診断」受付中！！

お電話ください。098-864-0331

Email : mec@mekata.co.jp